



コロナ禍での学校生活

全国的に拡大が広がるオミクロン株。本市・本校も例外ではなく全職員協力のもと、感染拡大防止に努める日々です。まずは換気です。休み時間ごとに保健委員会児童が窓開けのアナウンスをします。手洗い・消毒は習慣化しています。我慢しているのは学習内容です。歌は心の中で歌います。体育は2m以上離れた活動です。給食は黙食です。調理実習やグループ活動はしていません。他クラスとの交流も一切無しのため昼休みもカットです。それでも子供達は学校がいい！と言ってくれます。限られた中でがんばり、楽しんでくれています。日々の生活を維持し学びを進めるために、もう少しの辛抱と信じて子供も職員もがんばります。ご心配もあるでしょうが、いよいよまとめの3月です。ご理解とご協力を、これからもよろしくお願いします。



運動場いっぱいに広がる体育

「思いやり」「ゆずり合い」交通安全

…今日のキーワードは「自分で身を守る」

と「ゆずり合う思いやり」です。



2月9日の昼の放送で、本校生徒指導主事の俵教諭が、こんな話をしました。

今朝、みなさんが登校してくる時に危ない場面がありました。それは、横断歩道を渡るとき、車が信号無視をして通り過ぎました。…みなさん考えてください。信号を守る他に何を見ますか？そうです。車が止まってくれたか自分の目で見ることです。自分の命は自分で守るために車が止まるのを確認してから渡りましょう。

次に登校班が複数重なり、結果、自転車の大人や他の歩行者をとおせんぼしていました。集団で歩くときはできるだけ広がりません。なぜでしょう？みんなが通る道だからです。みんなが広がっていると自転車は後ろからぶつかってくるかもしれません。「どうぞ」という「ゆずり合う思いやり」が大切です。逆に自分達が自転車に乗ったとき、歩行者への「ゆずり合い」の気持ちを忘れないようにしましょう…。

この話を聞いて思い出しました。ある朝、6年生児童が一人、横断歩道の前に立っていました。渡るはずなのに、なかなかボタンを押しません。しばらく見ていると、車の流れがなくなったのを見てボタンを押しました。自分一人が渡るために車を待たせず、先に行つてもらおうという思いやりに感心しました。



朝夕は特に慌ただしい財小周辺です。マナーを守る車両が多い中、スピードを出す車も、つい赤で侵入する車も、児童の横をスピード出して通る自転車(そもそも歩道は歩行者道路)も見ます。わずか数秒、数十秒の思いやり・ゆずり合いが大切だと思います。朝元気にして行った我が子が事故に…こんなことが絶対ないように、これを読まれる皆様も、どうかよろしくお願いします。本校児童にはこれからもルールとマナーを繰り返し指導していきます。

★日向市景観賞「景観絵画コンクール」

金賞 6年 吉田葵 「ずっと住みたい場所」

★日向市学校給食展

【絵画・ポスターの部】

最優秀賞 1年 赤木丈虎 入選 2年 一木美桜

【毛筆書写の部】

優秀賞 2年 黒木健太 6年 平田梓紗

入選 2年 黒木茉音 5年 木口友花 6年 小野愛月

★宮崎こども造形作品展出品

1年 奈須陽愛 2年 奈須よつ葉 5年 小倉大和

コミュニティ・スクール発！

地域の花壇「にこにこガーデン」のチューリップが芽を出しました。かわいいです。どなたでも見に来てください。

